



Sonata Elite

ユーザーマニュアル

目次

はじめに

1.1 Quiet Computing™の特徴.....	1
1.2 ケース仕様.....	1
1.3 図.....	2

ハードウェアの取り付け

2.1 セットアップ.....	2
2.2 電源の取り付け.....	3
2.3 マザーボードの取り付け.....	3
2.4 内部3.5" デバイスの取り付け.....	3
2.5 外部3.5" デバイスの取り付け.....	4
2.6 外部5.25" デバイスの取り付け.....	4
2.7 ケーブルオーガナイザー.....	5

I/Oポートの取り付け

3.1 USB 2.0ポート.....	5
3.2 eSATAポート.....	5
3.3 AC 97 / HDオーディオポート.....	6
3.4 電源スイッチ/リセットスイッチ/ ハードドライブLEDコネクタ.....	6
3.5 マザーボードヘッダーコネクタの再配線.....	7

冷却システム

4.1 TriCool™ファン.....	7
4.2 120mm スロットブローワー.....	8
4.3 洗浄可能エアフィルター.....	8

Antecでは常に高品質を保つために商品の改良を行っております。そのためお客様のケースがマニュアルに示される仕様と若干異なることがありますが、使用上の問題はございません。こちらのマニュアル出版時点では、記載されている詳細、説明は正確な内容になっております。

免責条項

こちらはAntecコンピューターケース専用のマニュアルになっております。マザーボード、周辺機器などの取り付けに関する詳しい情報は、お手持ちの製品に同梱されているマニュアルをご参照ください。

Sonata Eliteユーザーマニュアル

Sonata Eliteには、電源が搭載されていません。お手持ちのシステムに対応可能な電源をお選びいただき、ケーブル等がマザーボード、周辺機器に十分届くかをご確認ください。弊社では、最新のATX規格に対応した省エネ設計のEarthWatts、TruePower、Signature電源をお勧めいたします。

ケース内の安全性に配慮して鋭い角等に対しては、処理を施してあります。作業をされる際には、十分に時間を取り必要な安全措置を取ることをお勧めします。とりわけ見づらい場所への作業等には、むやみに急いだり、不注意な動作をしたり、必要以上に力を加えることはお止めください。予め十分に注意をした上で作業をしてください。

1.1 Quiet Computing™の特徴

Sonata Eliteはクワイエットコンピューティング(Quiet Computing™)を念頭に設計されています。多くのユニークな機能がこのケースを静音でクールに動作させます。

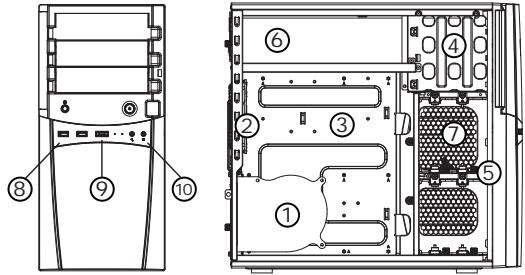
1. 強固なスチール設計（厚さ0.8mmスチール）
2. ノイズを軽減する二層のスチールとポリカーボネートを採用のサイド及びトップパネル
3. マザーボード、HDD専用の複数のコンパートメント
4. 最大のノイズ軽減を実現するユニークHDDマウンティングシステム
5. 吸気孔と専用HDDコンパートメントが冷却性能と静音性能を最大限に発揮
6. 静音120mm TriCool™リア排気ファン
7. 静音120mm 3段階速度調節付きブローワー
8. HDDケージ背面に余分なケーブルを結束するビルトインケーブルマネジメント

1.2 ケース仕様

ケースタイプ	静音ミニタワー
色	ブラック
寸法	18.9" x 8.1" x 17.3" / 48.1cm x 20.5cm x 44cm
重量	21.6 lbs / 9.8 kg
冷却	1 x リア 120mm TriCool™ファン 1 x 120mm スロットブローワー
ドライブベイ	7つのドライブベイ: - 3 x 外部 5.25" ドライブベイ - 4 x 内部 3.5" ドライブベイ - 1 x 外部 3.5" ドライブベイブラケット (オプション)
マザーボードサイズ	ミニITX、マイクロATX、標準ATX
フロントI/Oパネル	2 x USB 2.0 1 x eSATA AC 97/HDオーディオイン及びアウト

1.3 図

1. 120mm ブローワーファン(オプション)
2. 120mmリア排気用TriCoolファン
3. ミニITX、マイクロATX、標準ATXマザーボードに対応
4. 3 x 5.25" ドライブベイ
5. 4 x 3.5" ドライブベイ
6. 電源マウント
7. エアインテーク
8. 2 x USB 2.0ポート
9. 1 x eSATA ポート
10. HDオーディオ/ AC 97ポート



ハードウェアの取り付け

2.1 セットアップ

1. ケースを平らで安定した面に、垂直に置きます
2. 左側のサイドパネルの手回しネジを弛め、サイドパネルを開きながら取り外してください。
3. 右側のサイドパネルの手回しネジを弛め、サイドパネルを開きながら取り外してください。

備考：危険ですので、爪を使ってパネルを取り外したり、持ち上げたりしないでください。

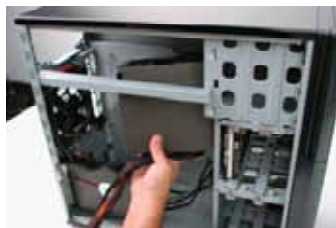
4. ケース内には、USB、PWRなどの表記があるコネクター付きのケーブル、取り付け済みのI/Oパネル、部品袋（ネジ、スペーサー等）がある事を確認してください。また、外付け3.5" 用5.25" -3.5" 変換アダプター、6ドライブレールと120mmブローワーがあることを確認してください。

注意：ケース内の安全性に配慮して鋭い角等に対しては、処理を施してありますが作業をされる際には、十分に時間を取り必要な安全措置を取ることをお勧めします。とりわけ見づらい場所への作業等には、むやみに急いんだり、不注意な動作をしたり、必要以上に力を加えることはお止めください。予め十分に注意をした上で作業をしてください。



2.2 電源の取り付け

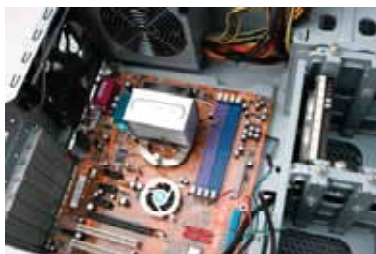
1. ケースを垂直に立て、5.25" ドライブベイからケースの後部に通されている支柱上に電源を置きます。
備考：通常、電源の取り付け、あるいは取り外しのためには電源を支柱の下から通します。既に組み立ててあるシステムではCPUヒートシンクを取り外す必要があります。
2. 電源をケースの後部に押し込み、取り付け用のネジ穴に合わせてください。
3. 電源をケースに取り付けます。



2.3 マザーボードの取り付け

このマニュアルにはCPU、メモリ、その他拡張カードの取り付け方法は含まれておりません。特定のパーツの取り付け方法やトラブルシューティングに関しては、お手持ちのマザーボードのマニュアルをご参照ください。

1. I/Oパネルがお持ちのマザーボードに合っていることを確認してください。予め取り付けられているI/Oパネルがお持ちのマザーボードに合わない場合は、マザーボードメーカーにお問い合わせください。
2. I/Oパネルを取り外す場合は、パネルを外から中に向かって押してください。
3. マザーボードをスペーサー用の穴に合わせて置いて下さい。どの穴と一致しているかを覚えておいてください。全てのマザーボードがこれらの穴に一致するとは限りません。
4. マザーボードを持ち上げ、ケースから出してください。
5. マザーボードの穴に一致した箇所にはスペーサーを取り付けてください。スペーサーを強く締めすぎないように注意してください。一部のスペーサーは便宜上、予め取り付けられています。
6. マザーボードをスペーサーの上に置いてください。
7. 同梱されている十字のねじでマザーボードをスペーサーに固定してください。これでマザーボードの取り付けが完了します。



2.4 内部3.5" デバイスの取り付け

このケースは、ユニークなハードドライブマウンティングシステムを採用しています。5.25" ドライブケージ直下には、2つのハードディスクコンパートメントがあります。それぞれコンパートメントには、ハードディスクドライブを2台収容できます。

1. それぞれのHDDコンパートメント内にソフトシリコングロメットが既に取り付けてある4つの金属製マウンティングレールがあることを確認してください。それぞれのドライブレールは手回しネジでコンパートメント内部に取り付けられています。HDDを取り付けるには2つのマウンティングレールが必要です。1つのレールはコンパートメント内の上方に、もう1つはコンパートメントの下方に固定されます。
2. 手回しネジを緩めながら、上下のマウンティングレールを取り外してください。



3. 同梱されているネジでドライブレールをシリコングロメットを通してHDDの側面に固定してください。

備考：ネジを締めすぎるとシリコングロメットの振動吸収と騒音吸収を妨げますのでご注意ください。

4. 取り付けたHDDユニットをコンパートメントにスライドさせながら取り付けください。
5. ドライブのコネクターは左側サイドパネルに面しています。（吸気口とは反対の方向）
6. 手回しネジを使ってHDDユニットをケースに取り付けてください。
7. 電源上の適切なパワーコネクターを確認し、デバイスに接続してください。
8. 適切なデータケーブルを確認し、それをデバイスとマザーボードに接続してください。



2.5 外部3.5” デバイスの取り付け

フロッピーディスクドライブや外付け3.5” デバイスを5.25” - 3.5” 変換アダプターを使用し取り付けの方法：

1. 5.25” - 3.5” 変換アダプターを引き出してください。
2. デバイスを同梱されているネジを使用して、アダプターに取り付けてください。
3. 前述の5.25” デバイスの取り付けの説明にある通り、ドライブレールをアダプターに取り付けてください。
4. 「カチッ」と音がするまで、デバイスをドライブベイに押し込んでください。
5. 適切なデータケーブルと電源からのコネクターをそれぞれデバイスとマザーボードに接続してください。



2.6 外部5.25” デバイスの取り付け

3つの5.25” ドライブベイが搭載されています。

1. ドライブベイを塞いでいる金属製のプレートを慎重に取り外してください。
2. プラスチック製ドライブレールを5.25” デバイスのそれぞれの側面に取り付けてください。ドライブレール端の金属の部分が正面から見て外側に開いているように設置してください。
3. 「カチッ」と音がするまで、デバイスをドライブベイに押し込んでください。
4. それぞれのデバイスのコネクター（オス）に電源から出ている周辺機器用4ピンコネクターを取り付けてください。
5. 適切なデータケーブルに接続し、それをデバイスとマザーボードに接続してください。





2.7 ケーブルオーガナイザー

全てのパワーケーブルをマザーボードのコンパートメントに配線する代わりに、ケーブルをマザーボードと右サイドパネルの間を通して配線することができます。

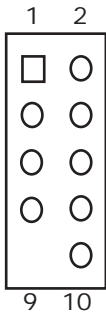
1. 両サイドのパネルを取り外してください。
2. マザーボードの背面に収容・配線したいケーブルを選んでください。
3. ケーブルをオーガナイザーに通し、結束バンドでケーブルをまとめてください。

I/Oポートの取り付け

3.1 USB 2.0ポート

フロントI/OパネルのUSBケーブルをマザーボードのUSBヘッダーピンに接続します。

USBコネクターのピン配置



ピン	信号名	ピン	信号名
1	USB電源1	2	USB電源2
3	負の信号1	4	負の信号2
5	正の信号1	6	正の信号2
7	接地1	8	接地2
9	キー(接続なし)	10	空のピン

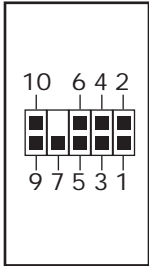
3.2 eSATAポート

フロントポートに取り付けられているケーブル付きのSATAコネクターを確認してください。この内部コネクターをマザーボードに接続してください。これによりAntec MX-1等の外付けHDDドライブを内蔵ドライブと同等の速度で使用することができます。

3.3 AC 97 / HDオーディオポート

こちらのケースには、10ピンのAC 97オーディオのフロントパネルコネクタ及び10ピンのHDオーディオ (HDA) が搭載されております。

オーディオポートのピンレイアウト (HDA及び AC 97)



ピン	ピン配置 (HD AUDIO)	ピン	ピン配置 (AC'97 AUDIO)
1	MIC2 L	1	MIC In
2	AGND	2	GND
3	MIC2 R	3	MIC Power
4	AVCC	4	NC
5	FRO-R	5	Line Out (R)
6	MIC2_JD	6	Line Out (R)
7	F_IO_SEN	7	NC
8	Key (no pin)	8	Key (no pin)
9	FRO-L	9	Line Out (L)
10	LINE2_JD	10	Line Out (L)

マザーボードのモデルによりAC 97、HDオーディオコネクタがご利用いただけます。マザーボード、または、サウンドカードの内部用オーディオコネクタに適切なオーディオケーブルを接続してください。オーディオヘッダーピン配置については、マザーボード、サウンドカードのマニュアルをご参照ください。両方のオーディオ規格に対応している場合でも、いずれか一方のコネクタのみ使用可能です。

3.4 電源スイッチ/リセットスイッチ/ハードドライブLEDコネクタ

電源、リセットスイッチ、HDD LED、電源LEDがフロントパネルに接続されています。これらをマザーボード上の適切なコネクタに接続してください。特定のピンヘッダーの場所に関しては、マザーボードのマニュアルをご参照ください。LEDでは、色付の配線がプラス (+) になります。白と黒の配線は、マイナス (-) になります。システムの電源が入っている際にLEDが発光しない場合は、極性を反対にしてみてください。その他のLEDの接続に関する情報は、お手持ちのマザーボードのマニュアルをご参照ください。

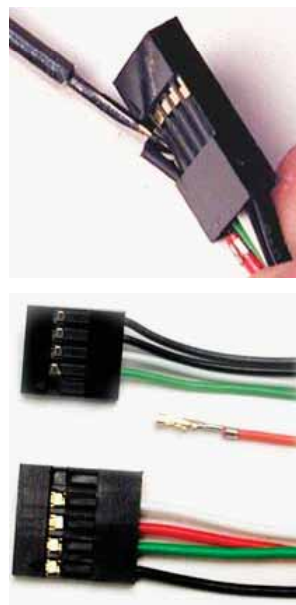
備考：スイッチに極性 (+、-) は関係ありません。



3.5 マザーボードヘッダーコネクターの再配線

マザーボードヘッダーコネクターのピンアウトを変更する必要がある場合があります。変更例としては、USBヘッダー、オーディオインプットヘッダー、あるいはパワープッシュボタンコネクタなどの他のフロントパネルコネクタがあります。作業に取り掛かる前に、マザーボードのマニュアル、もしくはウェブサイトでコネクターのピンアウトをご参照ください。万が一に備えて、予めピンコネクタ配置の図入りのメモを作成されることを強くお勧めします。

1. マザーボード上のUSBピンアウトに合ったプラグの配線を替えるためにどのケーブルを取り外す必要があるか決めてください。(お手持ちのマザーボードのマニュアルをご参照ください。)1つずつ処理し、マイナスの精密ドライバー、もしくは同様の道具を利用して、金色金具横の黒色タブを持ち上げてください。USBプラグから簡単にピンを外すことができます。
2. ケーブル、コネクタ、ピンなどを傷つけないように注意して作業してください。そしてゆっくりとコネクタからピンを外してください。必要に応じて、この作業を繰り返してください。
3. ゆっくりとピンを正しいコネクタのスロットに挿入し、ステップ1で持ち上げた黒色タブを「カチッ」と音がするまで閉めてください。必要に応じて、この作業を繰り返してください。



冷却システム

4.1 TriCool™ファン

このケースの後部には、1つの120mm TriCool™ファンが取り付けられています。このファンには、ファンの回転速度を3段階で選択することができるスイッチが付属しています。静音、パフォーマンス、最大冷却の3段階の選択が可能です。このスイッチは、ケース後部に配置されており、初期設定速度は、Low (静音) になっております。

サイズ: 120 x 25mm TriCool™ファン

定格電圧: DC 12V

動作電圧: 10.2V - 13.8V

スピード	入力電圧	エアフロー	静圧	音響雑音	入力
High 2000RPM	0.24A (Max.)	2.24 m ³ / min (79 CFM)	2.54 mm-H ₂ O (0.10 inch-H ₂ O)	30 dBA	2.9 W
Medium 1600RPM	0.2A	1.59 m ³ / min (56 CFM)	1.53 mm-H ₂ O (0.06 inch-H ₂ O)	28 dBA	2.4 W
Low 1200RPM	0.13A	1.1 m ³ / min (39 CFM)	0.92 mm-H ₂ O (0.04 inch-H ₂ O)	25 dBA	1.6 W

備考: 通常、ファンが動作する最低電圧は5Vです。Antec電源等にあるファンコントロール (Fan-Onlyコネクタ) を利用する際は、ファン速度を最大冷却のHighに設定することをお勧めします。ファンコントロールデバイスは、ファンの速度を電圧を変化させることで制御を行います。最小で4.5Vから5Vの間で電圧がかかるため、TriCool™をMedium (パフォーマンス) あるいはLow (静音) に設定し、ファンコントロールデバイスに接続するとファンが始動しないことがあります。ファンコントローラーですでに減圧された電圧が更にTriCool™の回路にて5V以下になることがあります。

4.2 120mmスロットブローワー

このケース内には120mmスロットブローワーが既に取り付けられています。こちらは、ケース後部に空気を取り入れるために取り付けられています。ブローワーは3可変速で、Low、Medium、あるいはHighに設定することが可能です。

仕様

サイズ: 120 x 25 mm
定格電圧: DC 12V
動作電圧: 10.8V ~ 13.2V



スピード(RPM)	入力電流	エアフロー	静圧	音響雑音	入力
High 2500	0.22A (max.)	0.33 m ³ / min(11.8 CFM)	6.89 mm-H ₂ O (0.27 inch- H ₂ O)	39 dBA	2.6 W
Medium 2000	0.15A	0.26 m ³ / min (9.3 CFM)	4.30 mm- H ₂ O (0.17 inch- H ₂ O)	34 dBA	1.8 W
Low 1500	0.12A	0.19 m ³ / min (6.8 CFM)	2.22 mm- H ₂ O (0.09 inch- H ₂ O)	27 dBA	1.4 W

4.3 洗淨可能エアフィルター

定期的にフィルターの洗淨が必要です。フィルターの洗淨を行わないと、ケース内の温度が上昇し、システムの安定性に影響があることがあります。御使用当初は、月に1回フィルターを確認されることをお勧めします。洗淨の頻度は、システムの利用頻度及び利用環境により異なります。(常時システムが稼働している場合は、その他の場合と比較し、さらにフィルターの確認及び戦場が必要になります。)

洗淨方法:

1. センターグリルをつまみ、吸気口からフィルターを取り外してください。
2. 必要に応じて、フィルターを洗淨してください。
3. フィルターを元通り取り付けてください。

Antec, Inc.

47900 Fremont Blvd.
Fremont, CA 94538
USA
tel: 510-770-1200
fax: 510-770-1288

Antec Europe B.V.

Stuttgartstraat 12
3047 AS Rotterdam
The Netherlands
tel: + 31 (0) 10 462-2060
fax: + 31 (0) 10 437-1752

Customer Support:

US & Canada

1-800-22ANTEC
customersupport@antec.com

Europe

+ 31 (0) 10 462-2060
europe.techsupport@antec.com

カスタマーサポート :
international@antec.com

www.antec.com

Free Manuals Download Website

<http://myh66.com>

<http://usermanuals.us>

<http://www.somanuals.com>

<http://www.4manuals.cc>

<http://www.manual-lib.com>

<http://www.404manual.com>

<http://www.luxmanual.com>

<http://aubethermostatmanual.com>

Golf course search by state

<http://golfingnear.com>

Email search by domain

<http://emailbydomain.com>

Auto manuals search

<http://auto.somanuals.com>

TV manuals search

<http://tv.somanuals.com>